

学位論文審査の結果の要旨

津田祐一

本研究は、水鳥羽毛由来加水分解ケラチンの特性を解析し、その利用法について検討したものである。その結果、羊毛由来加水分解ケラチンに比べ疎水性アミノ酸含量が高く、ヒト毛髪の表面に被膜形成するだけでなく、深部まで浸透することで毛髪の保護・補修が可能であることを明らかにした。毛髪カラーリングおよびパーマネントウェーブの持続性を高めることも明らかにすることで、水鳥羽毛由来加水分解ケラチンの毛髪用化粧品としての用途開発が可能となった。また、経済的かつ環境に配慮した水鳥羽毛由来加水分解ケラチンの新しい製造方法を提案している。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。